



社協だより *naha*

7

令和2年度より
毎月発行に
リニューアル
しました!

月号



もくじ

コロナ禍でも介護予防・いきがづくり… 1
那覇市ふれあいデイサービス

特集

- ふれデイスタッフ活動紹介… 2
- ふれでい活動拠点…………… 3
- 子どもの居場所サポートセンター系… 4
- 生活支援コーディネーター活動紹介… 5
- 社協会員募集…………… 6
- 生活支援員募集…………… 7
- 炊き出しボランティア…………… 8

コロナ禍でも 介護予防・いきがづくり

那覇市地域 ふれあいデイサービス



那覇市地域ふれあいデイサービスは、地域の公民館・集会所・学校などを利用して、地域の運営協議会で主体となるボランティアと那覇市社協から派遣されているスタッフ（看護師・健康づくり支援員）が一緒になって、おおむね 65 歳以上の方々の健康づくり、いきがづくりを支援する事業です。

コロナウイルス感染拡大防止のため、緊急事態宣言・蔓延防止措置の発出の際には活動を休止しています。昨年度から 4 度休止を余儀なくされていますが、再開の時には元気に皆さんと活動できればと楽しみにしています。(担当：慶田盛)

Facebook・Twitter
やっています!
チェックしてみてね!



那覇市地域ふれあいデイサービス

健康づくり、生きがいづくりを支援!!

元気に皆さんと活動できればと楽しみにしています。

ふれデイ活動拠点

那覇市内には 126 か所のふれデイの活動拠点があり、約 4000 人の 65 歳以上の皆さん（ボランティアは 65 歳以下でも OK!）が登録し、活動を行っています。実施回数は月 1 回～ 4 回、時間は午前 10 時～ 12 時・午後 2 時～ 4 時で、実施曜日や時間は各運営協議会で異なります。参加費は無料です。

詳しくは、那覇市社会福祉協議会
那覇市地域ふれあいデイサービス
担当までお問い合わせください。

電話：098-857-7766



125 か所目の活動拠点
ほしぞらリフレッシュメイト



仲間と共に活動 心も身体もリフレッシュ!



ふれデイ休止中でも利用者の方々の介護予防のために!楽しめるような体操・運動を研修しています



足の筋肉の動かし方・運動方法を学んでいます



親しき仲でも ソーシャルディスタンス (宝の会)



運営協議会情報交換会 感染予防対策について考えました



スタッフ皆で研修中!日々のスキルUPに努めています



沖大の玉木先生をお呼びして福祉について再認識!!



またふれデイができる日を楽しみにしています!

ふれデイスタッフ活動紹介

那覇市地域ふれあいデイサービスでは、参加者の皆さまの健康相談を行う看護師 20 人、健康体操・踊り等と一緒に健康づくり支援員 30 人、計 50 人の有償ボランティアスタッフを各運営協議会に派遣し、皆さまが心身ともにリフレッシュし、生き活きたした生活ができるように、地域の運営協議会の皆さまと一緒に活動しています。

残念ながら、今年度は 4 月中旬から新型コロナウイルス感染拡大により、ふれデイが休止になったため地域に出る活動は行えていませんが、再開時には皆さまにより良い活動を提供できるようにと、研修会を行い準備しています。



活動継続 20 年
8 か所の活動拠点が表彰されました!



開所 20 周年表彰 (岡野みじゅん会)



活動再開 みんなで貯筋 (仲井真ゆいの会)

メイク落としシートを 市立病院と赤十字病院に寄贈

那覇社協はこのほど、資生堂のメイク落としシート約 1300 パックを那覇市立病院と赤十字病院を寄贈しました。物資支援で連携している「NPO 法人 JADE- 緊急開発支援機構」を通じて、資生堂から那覇社協へ寄贈いただいたもので、「コロナ禍で頑張っている医療関係者の女性スタッフを応援しよう」と両院へお渡ししました。病院側からは「メイク落としは誰もが使うので、いいエールになる。ありがたい」と感謝の言葉をいただきました。(担当：浦崎)



自立支援員との意見交換会

児童・子ども自立支援員と糸との意見交換会が5月10日、那覇市役所であり、糸の取り組みや居場所の現状を紹介しました。自立支援員は、生活保護世帯の子どもたちが健やかに育ち、能力に応じた適切な進路に向かえるように学校やその他機関と連携して生活面や学習面をサポートしています。自立支援員さんを通じて、子どもたちやその家族が「子どもの居場所」のことで知り、居場所遊びに来てもらいたいです。私たちも、自立支援員さんの役割を知ることができました。連携して、子どもたちを地域で見守り育てましょう！(担当：上原)



ランチサポート・シンポジウム 子どもたちの現状を共有

おきなわ子ども未来ランチサポート主催のシンポジウムが5月12日にあり、那覇社協による子どもの居場所支援の取り組みを報告してきました。居場所や支援企業、行政、中間支援団体の担当者がそれぞれの取り組みを紹介し、意見交換しました。コロナ禍でより厳しい環境に置かれている子どもたちの様子を聞き、支援がまだまだ足りていない状況を痛感しながらも、どうにかしようと奮闘する支援者の活動や企業連携の事例の報告には「今後も支援の輪が広がっていくな」という手応えを感じました。引き続き、子どもたちの成長をみんなで見守る地域づくりに力を入れていきましょう。(担当：浦崎)



お米 180 キロとラーメン 海の幸ソデイカの寄贈に感謝

子どもの居場所や必要な家庭に届けてほしいと、沖縄県安全施設業協会（三枝利郎会長）から5/14、米3キロ×60袋とラーメン50ケースをいただきました。会員に呼びかけ、地域貢献の一環として取り組んだ初の試みに、心より感謝致します。有効活用させていただきます！

また、5/27には、糸満漁業協同組合昴和水産から、海の幸のご寄贈がありました。糸満漁協での贈呈式で頂いたのはモズクやソデイカの切り身やゲソの冷凍真空パック40キロ。昴和水産・第八昴和丸の西村昴平船長、東恩納博組合長はじめ組合員の皆様、ありがとうございました。(担当：城間)



首里山川町自治会に 生活支援コーディネーターがお邪魔しました!!

去った5月22日に首里山川町自治会とコープおきなわ、地域包括支援センター城西、那覇市社協の四者で、高齢者の買物の実情について意見交換を行いました。首里山川町は急な坂道が多く、高齢化が進む地域では買い物に課題を抱える高齢者の増加が予想されます。コロナ禍の影響も受け、地域住民からは「近所のスーパーが閉店した」「歩

いて買い物に行っていた人も、外出する機会が減った」など、生活課題が顕在化しました。

今後も地域の皆様との意見交換を重ね、企業が持つ強みである「買い物送迎サービス」や「移動販売」を生活課題とマッチさせ、安心して暮らせるまちづくりを目指して、課題解決に取り組んでいきたいです。(担当：神田)



まち歩きマップを作成

目指せオリンピック?! 社協職員の朝の1コマ



毎朝1分間程度の筋トレと10回のスクワット、実は在宅福祉課でひっそりと職員が始めました。それがこの「仲やっしークラブ」です。最初はたったの3名からのスタートでしたが、今では他課からも集まって19名が名簿に載っています!短時間ですがそれぞれのレベルを設定し、しっかり筋トレになっています。今年はオリンピックが待っています☆コロナに負けない体づくりを職員も頑張ります!!(担当：林)



社協会員募集

福祉体験



はいさい!那覇市社協は、地域に住む皆さんが笑顔で暮らせるまちづくりを目指して、行政や自治会や様々な企業福祉団体と一緒に地域福祉活動を進めています。見守り活動や子どもの居場所サポート事業など皆さんの身近にある支え合い活動のサポートや、高齢者・障がい者や生活困窮世帯等への専門的な支援まで多くの事業を行っています。

地域福祉活動を効果的、継続的に進めていくためには、会員の皆さんから頂く会費がとても大事な活動の資金となっています。あなたの助け合いの気持ちが豊かな福祉のまちづくりの力となります!会員加入へのご協力、ゆたさるごと、うにげーさびら!

ふれあい・いきいきサロン



ボランティア活動支援



みまもりたいぞうくん

正会員

住民組織、公私の社会福祉事業関係者で構成します。

戸別会員 1世帯 100円 自治会

団体会員 年額 3,000円 福祉団体
当事者組織
ボランティア・福祉機関

賛助会員

社会福祉の増進に理解と熱意があり、本会の事業へご協力いただける市民・団体企業の方です。

個人会員 1口 1,000円 賛同する市民

団体会員 1口 5,000円 医療機関・社会团体

企業会員 1口 10,000円 企業法人

協力会員 任意の額 その他趣旨に賛同する者

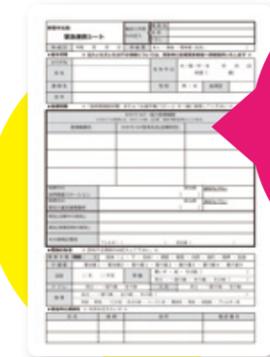
『緊急医療情報キット』

那覇市在住の方に向けて、健康上不安を抱える高齢者や障がいのある方を対象に、無料でお配りしています。

①専用の容器
(原則1世帯に1つ)

②緊急連携シート

③その他
(パンフレット等)



「かかりつけ医」「緊急連絡先」「持病」など、ご自身の身体についてご記入下さい



お薬を処方される際に病院からいただく「薬剤情報提供書」も緊急連携シートと併せて専用の容器に入れ、自宅の冷蔵庫に保管しておく事で、緊急時及び災害時の備えにつながります。

※救急隊員等が、迅速かつ適切な救急活動ができるように、スムーズに医療機関へつなげられるように、情報活用します※ご利用を希望される方は、那覇市社会福祉協議会までご連絡下さい。(地域福祉課：高橋)



生活支援員さんってこんなお仕事 / 日常生活自立支援事業の生活支援員になりませんか?



日常生活自立支援事業ってなに?

認知症高齢者、知的障がい者・精神障がい者の方々に、判断能力が不十分な方との契約に基づき、社会福祉協議会が①福祉サービス等の利用のお手伝い②日常的な金銭管理のお手伝い③書類等の預かりサービスを行います。

生活支援員って?どんな事をするの?

- ①定期的(週に1回~月に1回程度)に生活費や小遣いを届ける。
- ②公共料金や病院代の支払いを代行する。
- ③コミュニケーションを通じて相談や要望を聞く。他



どうやったら生活支援員になれるの?

書類提出(履歴書) ▶ 面接 ▶ 登録 ▶ 活動開始!

那覇市社会福祉協議会/日常生活自立支援事業専門員 金城まで詳しくはお問い合わせ下さい!(直通 098-857-4525)

なは社協 相談窓口のご案内

ふれあい福祉相談室 ☎ 857-7780

生活上の心配ごと、悩みごと、どのようなことでも気軽に相談できる一般相談・司法書士相談があります。(秘密は厳守で相談は無料です)

生活福祉資金貸付事業 低所得者世帯、障がい者世帯、高齢者の属する世帯に対する資金貸付

司法書士専門相談 毎月第2金曜日/午後2時~4時 予約制
弁護士専門相談 奇数月第4金曜日/午後2時~4時 予約制

那覇市障がい者生活センター「ゆいゆい」 ☎ 891-8454

在宅で生活する障がい者が「自分らしく」暮らしていただけるように支援をしています。 FAX.857-6052

- ピア(同じ仲間)サポート
- サービス利用計画の作成

地域福祉権利擁護センター ☎ 857-4525
日常生活自立支援事業 FAX.857-6052

認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者などで、自分で判断することが難しい方々の福祉サービスの利用手続きや、医療費・公共料金の支払い等の日常的な金銭管理のお手伝い、書類の預かりサービスを契約に基づいて行っています。

居宅介護支援事業 ☎ 891-8236
FAX.859-8388

安心して在宅生活が営めるように、家族、医療、介護保険サービス事業所等と連携を図ると共に、社会資源を活用しながら支援を行ないます。

ホームヘルプステーションわかば ☎ 859-8383
FAX.859-8388

ご自宅に介護専門職が訪問し、身体介護及び生活支援サービスを提供します。 ●訪問介護 ●総合事業 ●障がい福祉サービス

医療保険療養費支給申請ができます

ご自宅や介護施設まで出張施術します

沖縄本島全域、および宮古島、伊良部島、石垣島、八重山諸島、久米島、伊江島で訪問治療します。

治療内容 はり、お灸、マッサージ

琉球治療院 詳しくはwebを検索! 琉球治療院 検索 お気軽にお問い合わせください 【営業時間 9:00~18:00】 ☎ 0120-680-006

